

インターバンクの声（2016年2月23日）

丹念にポイントを積み上げる取引手法を取る方々にとっては、ここ数日間のドル円の値動きも悪くないかも知れないが、一方向に大きく変化する相場を好む方々にとっては難しい相場が続いている。ましてやほとんどの時間帯で高値と安値の値幅が、30～40銭程度の範囲に収まっているので尚更やっかいだ。原油価格や株価を四六時中注視している訳にも行かず、他の通貨ペアがどんな値動きをしているのかもチェックすると、面白いのはユーロ対豪ドルや英ポンドの動きだ。昨日の東京市場の夕方からは、ユーロと豪ドルは典型的な逆相関的な値動きになっている。この時間帯での関係性がいつもなら何とも簡単に収益を生み出せる訳だが、たまには騙されたつもりでポジションを作ってみるのもありかも知れない。もう少し上級者の方々には、英国が欧州連合（EU）から離脱する確率が高まっているとの観測を背景に売りが進むポンドの取引も面白いかも知れない。昨日、対ドルでちょうど一カ月前に付けた2009年3月以来となる安値1.4080も下に抜け、1.4058ドルまで売り進まれた。わずか3週間足らずの間に600ポイントも売り込まれており、EU離脱を巡るニュース次第で更なる下落か大きな反発が待ち構えているような気がする。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。